

(様式1)

記入例

事務局 記載欄	受付番号		貸付	
------------	------	--	----	--

平成 31 年 4 月〇〇日

公益財団法人ひょうご産業活性化センター理事長 様

申請者 事務所・店舗等の所在地又は代表者住所
 神戸市中央区〇〇町 〇〇-〇〇-〇〇
 〇〇マンション 〇〇〇
事業者名(会社名・屋号等(未定の場合は仮称を記載))
 屋号〇〇〇〇〇

代表者職・氏名

代表者 兵庫 太郎 

ミドル起業家支援事業 事業計画申請書

別紙の事業計画について、下記のとおり、ミドル起業家支援事業の認定を受けたいので申請します。

記

項 目 名	〇記入欄	備考
事業計画の区分	① 助成金のみ申請	①②のいずれかに〇を入れる
	②助成金と貸付金の同時申請	
空き家活用の有無	〇	有の場合〇を入れる

《事業計画の名称》

(例) 地域産品のみ利用したご当地グルメを提供する飲食店

(事業内容を的確に表現した簡潔な名称を30字以内で示してください)

《誓約》

- 1 私(当社)は反社会的勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。
- 2 私(当社)は現在、訴訟による係争はなく事業運営に支障のないことを確約します。
- 3 私(当社)は現在、法令違反による処罰を受けておらず事業運営に支障のないことを確約します。
- 4 私(当社)は、助成事業期間中及び助成事業期間終了後も、本事業を実施していく上で法令を順守することを確約します。
- 5 私(当社)は『平成 31 年ミドル起業家支援事業ビジネスプラン募集要項』3 応募資格等別記 助成対象外とする業種」に記載する事業を実施しないことを確約します。
- 6 以上の制約を履行できない場合で、助成金、貸付金の返還を求められる場合は、これに応じることを確約します。

署名 兵庫 太郎 

※ 必ず自筆で署名してください。また、法人の場合は代表者が署名・捺印してください。

(様式2)

事業計画書

【申請上の注意】

- 1 各項目には指定された必要事項を必ず記載すること。記載もれ等提出書類に不備がある場合は、審査の対象から外す場合があります。
- 2 申請書は片面印刷とし、ページ数を変更させないこと。枠内に書ききれない場合は、枠内に「詳細は別紙」と記入のうえ、別紙に詳細を記載してください。別紙等補足資料を添付する場合はA4版3枚まで
- 3 申請書など、提出書類はホチキス止めしないこと
- 4 申請書には必要書類を必ず添付すること。(8ページ「提出書類チェックリスト」参照)

1 申請者の概要

(1) 事業者の名称、所在地等

フリガナ	○○○○○○○○○○ (※法人の場合は会社名のフリガナ)				
事業者名 (社名・屋号等)	○○○○○ (※法人の場合は会社名：株式会社○○○○○など) ※未定の場合は仮称を必ずつけてください。				
事務所・ 店舗等の 所在地	〒○○○-○○○ 神戸市中央区○○町 ○○-○○-○○ ○○○マンション ○○○ (明確に決まっていないときは「○○市(町)内(予定)」でも可。	TEL	○○○ (○○) ○○○○		
		FAX	○○○ (○○) ○○○○		
		E-mail	○○○@○○○.○○.○○		
起業日	起業日(予定日) 平成○○年○○月○○日 (法人の場合：登記日)				
起業形態	法人 ・ 個人	(法人の方のみ) 資本金／代表者の議決権比率			円 %
主たる業種 (注：日本標準産業分類を記載)	○○業 (例：飲食業、食品製造業、サービス(イベント企画)業など)				
従事者数※	(法人の方のみ) 役員の数	人	代表者以外の 従業員数 (うち、家族)	1人 (0人)	パート・ アルバイト 人

※ 起業前の場合、事業者名を除き、未定の項目は「未定」と記載してください。
(注：日本標準産業分類(平成25年10月改訂)については、こちらを参照ください。
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/htoukeib/TopDisp.do?bKind=10>

(2) 代表者の氏名、住所等

フリガナ	ヒョウゴ タロウ	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	昭和○○年○○月○○日
氏名	兵庫 太郎				
現住所	〒○○○-○○○ ○○市○○町○○町 ○○-○○-○○	TEL	○○○ (○○) ○○○○		
		携帯電話	○○○ (○○) ○○○○		
		E-mail	○○○@○○○.○○.○○		

(3) 代表者の過去の経歴等

起業するまでの経歴を具体的にご記入ください。
例：卒業後、○年間○○○(株)に勤務。○○年に退社後、在職中に習得した○○の技術を生かして仕事がしたいと考え、現在起業の準備を進めている。など

2 事業計画

(1) 事業計画の名称

様式1「事業計画申請書」に記載した事業計画の名称と同じ名称を記載してください。

例：地域産品のみ利用したご当地グルメを提供する飲食店

(2) 事業の概要

起業に至った経緯や、この事業がなぜ必要とされているのか、具体的なニーズや背景、事業の内容をわかりやすく記載してください。

下記の内容を出来るだけ具体的に記入してください

- 事業の内容
- 起業（創業）に至った経緯（経験、創業者の思い など）
- 計画された事業のニーズや背景（必要としている相手（ターゲット）、背景（時代や身の回りなど））
- 事業の目標（事業を実現化することでどのようになるのか など）

(3) 事業の手法

開発・提供する商品やサービス等を示し、それらを生み出すための取り組みをわかりやすく記載してください。

- (2)の「事業概要」で記載した事業を実現するために開発、提供する商品やサービス等を出るだけ具体的にご記入ください。
- その商品やサービス等をどのように事業展開（手法）していくかをご記入ください。

(4) 事業の準備状況（必要な資格・届出等）

《資格・届出等が必要な事業の場合…取得等の状況》

- ・資格：〇〇〇免許（平成〇〇年〇〇月取得） 〇〇〇士（平成〇〇年〇〇月取得）
- ・届出等：開業届（平成〇〇年〇〇月届出） 〇〇営業許可証（平成〇〇年〇〇月届出予定）

※ 資格・届出等の名称と取得の日付を記載してください（手続中・準備中の場合は「〇月頃取得（手続）予定」と記載）。

《空き家を活用する場合…空き家の契約等の状況》

- ・契約の状況：平成〇〇年〇月賃貸借契約済み
- ・建物の状況：築〇〇年木造2階建て、平成〇〇年〇月から空き家で、〇〇市の空き家バンクに登録
平成〇〇年〇月～雨漏り補修

※ 事業に活用する空き家について、契約の状況（購入・賃貸の別、契約予定年月日等）や、建物の状況（空き家の期間（いつから使用されていないか）、改修の予定等）を決まっている範囲で記載してください。

(5) 事業のPRポイント

審査のために重要な事項ですので、分かりやすく記載してください。

新規性・ 独創性・ 優位性	<p>○開発・提供する商品やサービス等と、従来からある類似商品・サービス等を比較した場合の新規性・独創性・優位性について記載してください。</p> <p>※(2)、(3)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的にご記入ください)。</p>
市場性 (成長性)	<p>○商品・サービス等の市場性(顧客ターゲット、市場規模、販売先等)や将来性について、数値等を用いて具体的に記載してください。</p> <p>※(2)、(3)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的にご記入ください)。</p>
マーケティング 戦略	<p>○事業を実施する場合のPR方法、販売予定価格、マーケティング手法などを具体的に記載してください。</p> <p>※(2)、(3)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的にご記入ください)。</p>
地域経済 活性化への 波及効果	<p>○事業が実現されることにより、地域経済の活性化へどのような効果があるかを記載してください。</p> <p>※(2)、(3)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的にご記入ください)。</p>

(6) 事業(創業)のスケジュール

具体的な実施項目												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
記入例	※事業への取り組み内容(既の実施した作業がある場合はそれも含む)を記載してください。											
	<子育て交流カフェ> 内装等開店準備 → カフェ営業開始 メニュー開発 → 子育て教室サービス開始 人材募集 → 広報活動 → 広報活動											
開業1年目 (平成31年3月～ 2019年12月)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	内装・外装工事 (3月～8月) 初度備品・設備導入 (8月～10月) 開業届 (2月～3月)											
開業2年目 (2020年1月～ 2020年12月)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	営業活動 (1月～12月) 広報活動 (4月～5月) 新メニュー開発 (8月～11月)											

※ 期間の区切りは、個人事業は1月から12月、法人は決算期で区切って記載してください。

(様式3)

助成金の使途

(単位：円)

区分	対象経費の内訳 (2019年8月1日から2020年1月末日までに物品等の引渡しや 役務の提供及び支払いが完了する経費に限る。)	助成対象経費の額	
① 起業 に係る 経費	事務所 開設費	内装・外装工事費 500,000円 (※家賃は〇〇〇創業補助金充当のため記載せず)	500,000円
	小計(a)		500,000円
	初度備品費	業務用冷蔵庫 1,000,000円	1,000,000円
	小計(b)		1,000,000円
	専門家経費		
	小計(c)		円
	事業費	水道光熱費 1,100,000円	1,100,000円
	小計(d)		1,100,000円
	起業に係る経費 計(e=a+b+c+d)		2,600,000円
助成金申請額Ⅰ (e×1/2 ※上限100万円)		1,000,000円	
② 空き家 活用に 係る 経費	空き家 改修費	屋根補修工事費 1,500,000円 水回り改修工事費 1,000,000円	2,500,000円
	空き家活用に係る経費 計(f)		2,500,000円
	助成金申請額Ⅱ (f×1/2 ※上限100万円)		1,000,000円
助成金申請額合計(Ⅰ+Ⅱ)		2,000,000円	

※ 科目ごとに、品名・サービス名、単価、数量などを記入してください。

※ 区分ごとの記入欄は必要に応じて大きさを変更してください。

(注) 助成金申請額は、助成対象経費合計額(e)、(f)の1/2以内で、千円未満は切り捨てとし、上限はⅠ、Ⅱそれぞれ100万円以下です。

■ 商工会・商工会議所・よろず支援拠点記入欄

記入者	支援機関名:	氏名:
①申請書が適切に記載されているか		
②内容の具体性・実現可能性		
③財務内容・資金調達計画の確実性		
④適切なマーケティングがなされ、事業全体の収益性が見通せるか		
⑤事業の継続性があるか		
⑥地域経済への波及効果はあるか		

責任者確認欄	年 月 日 確認	職・氏名	印
--------	----------	------	---

■ 事務所等の所在地又は創業予定地の市町等が実施する創業支援施策の利用状況(H29年以降)

創業するために、市町や商工会・商工会議所(商工会等)などや金融機関が実施する支援施策を平成29年以降に利用した場合又は今後利用する場合、記載してください。

創業塾(注1)	<input checked="" type="checkbox"/> 受講済み(実施機関: 〇〇商工会議所)) <input type="checkbox"/> 受講中 (実施機関:)) <input type="checkbox"/> 受講していない
個別相談(注2)	<input checked="" type="checkbox"/> 受けたことがある・受けている(実施機関: 〇〇商工会議所)) <input type="checkbox"/> 受けたことがない
市町等(外郭団体を含む)の起業に関する助成金	<input type="checkbox"/> 受領済み(申請先:)) <input type="checkbox"/> 申請中又は申請予定(申請先:)) <input checked="" type="checkbox"/> 申請予定なし

(注1) 実施機関については、市町、商工会等、中小企業支援センターや金融機関の名称を記載してください。

(注2) 今回指導を受けた上記の商工会・商工会議所・よろず支援拠点以外の実施機関を記載してください。

■ 提出書類チェックリスト(※提出する書類は、チェック欄に○を付けてください。)

1 申請者共通

チェック	申請書類
<input type="radio"/>	① 当該ページ
<input type="radio"/>	②「起業家支援事業」事業計画申請書(様式1)
<input type="radio"/>	③ 事業計画書(様式2)
<input type="radio"/>	④ 助成金の使途(様式3)
<input type="radio"/>	⑤ その他(事業計画の補足説明資料等。A4版片面3枚まで)
<input type="radio"/>	⑥ 【許認可を伴う業種の場合】許可証の写し

2 開業済の場合

<input type="radio"/>	⑦ 【個人】開業届の写し、【法人】履歴事項全部証明書(いわゆる商業登記簿謄本)の写し
-----------------------	--

3 ひょうごチャレンジ起業支援貸付を同時申請する場合

<input type="radio"/>	ひょうごチャレンジ起業支援貸付申請書
-----------------------	--------------------

■ 本助成金への応募のきっかけについて、情報の入手先及び【 】に○を付けてください。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 ひょうご産業活性化センター(よろず支援拠点) | 【広報誌・チラシ・ HP ・メルマガ・窓口】 |
| 2 兵庫県(本庁・各県民局等) | 【広報誌・チラシ・HP・メルマガ・窓口】 |
| 3 市役所・町役場 | 【広報誌・チラシ・HP・メルマガ・窓口】 |
| 4 商工会議所・商工会 | 【広報誌・チラシ・HP・メルマガ・ 窓口 】 |
| 5 金融機関 | 【広報誌・チラシ・HP・営業担当者・窓口】 |
| 6 その他 | 【知人・経営コンサルタント・税理士・新聞記事・その他()】←具体的に記載ください |